

計画の概要

計画期間 **平成28年度～32年度**
5年間

投資予定額 **概ね1,700億円** 国直轄事業負担金を含む
※社会情勢等により変動することがあります。

計画の流れ

広島県の将来像
基本理念

将来にわたって、
「広島に生まれ、育ち、住み、
働いて良かった」と心から思える広島県の実現

ひろしま未来チャレンジビジョン

強みを活かした道路整備の取組方針

広島県の将来像を実現するための
社会資本マネジメント方針に基づく
道路整備の取組方針の決定

- 井桁状高速道路ネットワークの活用
- 7つの施策に基づく取組

本県の目指す姿を実現するため、現状と課題から、次の7つの施策を取組方針とします。

- 7つの施策**
- 1 広域的な交流・連携基盤の強化
 - 2 集客・交流機能の強化
 - 3 災害に強い道路ネットワークの構築
 - 4 総合的な交通安全対策の推進
 - 5 持続可能なまちづくりに資する道路整備
 - 6 道路機能の有効活用
 - 7 道路施設の適正な維持管理

社会資本未来プランより作成

選択と集中に基づく箇所の選定

事業箇所選定の視点・評価

- 将来の広島県広域道路ネットワーク
- 事業評価（3項目）

道路改良事業 街路事業

将来の広域道路ネットワークを考慮し、今後、対策が必要と考えられる事業箇所について、事業評価を実施しました。

事業評価とは

事業箇所毎に「費用対効果」、「施策貢献度」、「実施環境」の3項目による事業評価を実施し、優先度を決定しています。



評価結果による 事業実施箇所の選定



施策貢献度の評価指標

施策項目	評価指標
①広域的な交流・連携基盤の強化	広島市への連絡強化
	広島空港への連絡強化
	新幹線駅への連絡強化
	高速道路ICへの連絡強化
	物流拠点～高速ICへの連絡強化
②集客・交流機能の強化	主要観光地～高速ICへの連絡強化
	観光周遊の促進
	緊急輸送道路
③災害に強い道路ネットワークの構築	異常気象時通行規制区間
	多重型道路ネットワークの形成
	事故危険箇所の解消
④総合的な交通安全対策の推進	通学路の歩道整備
	主要渋滞箇所の渋滞緩和
	容量超過交通量
	新市町中心地への連絡強化
	バス路線の1車線区間
⑤持続可能なまちづくりに資する道路整備	合併建設計画区間
	生活交通路線の整備

交通安全事業

事故危険箇所の対策や通学路交通安全プログラムに基づく整備を基本としています。

補修系事業

修繕方針や施設の点検結果に基づき、緊急性の高い箇所を優先的に整備します。

早期効果の発現を重視した予算配分

事業実施箇所の選定 (実施計画の作成)

494箇所/5年
5年間で363箇所の完成を目指します

計画に基づく着実な整備の実施

事業の実施

- 着実な整備による早期効果の発現
- コスト削減を意識した事業の実施
- 地域と一体となった取組の推進

社会情勢の変化に柔軟に対応

進捗状況の 点検・評価

- PDCAサイクルの実施
- ストック効果の検証

事業実施箇所一覧（平成28年3月現在）（単位：箇所）

区分	完成 ^{※1}	継続 ^{※2}	合計	
改築系	道路改良	69	77	146
	街路	5	7	12
	交通安全	49	47	96
	小計	123	131	254
補修系	橋梁耐震補強	24	0	24
	法面災害防除	216	0	216
小計	240	0	240	
合計	363	131	494	

投資予定額（単位：億円）

区分	投資予定額
補助公共事業費	700
単独公共事業費	760
国直轄事業負担金	240
合計	1,700

※1 完成：計画期間内に完了する事業。
※2 継続：計画期間後も継続実施する事業。

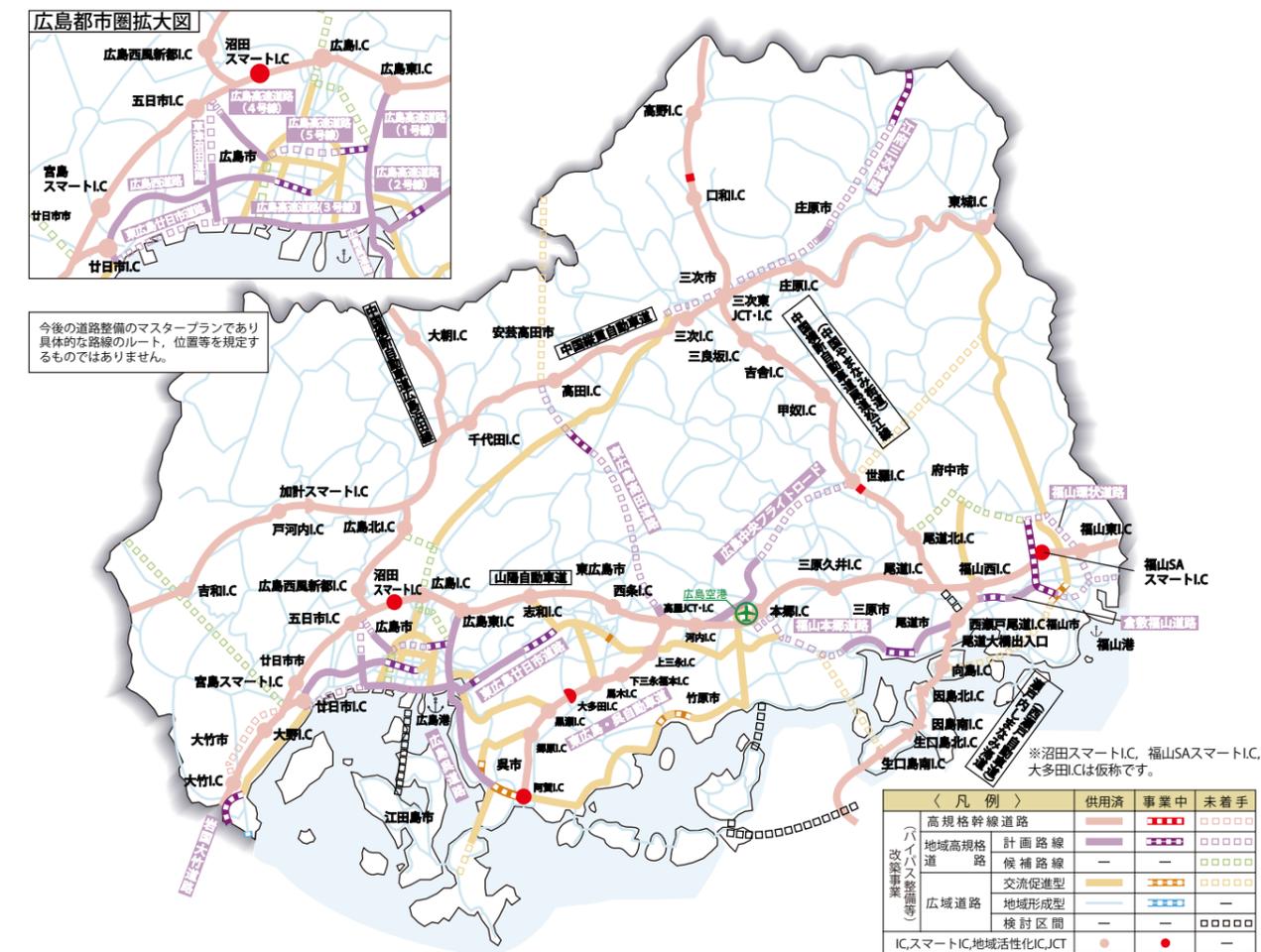
地元市町の意見を尊重

計画の策定にあたり、社会資本整備調整会議を開催し、地元市町の意見を伺いながら、事業実施箇所を選定しています。



社会資本整備調整会議

将来の広島県広域道路ネットワーク



用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道、山陽自動車道を横軸に、広島自動車道、浜田自動車道、東広島・呉自動車道、中国横断自動車道尾道松江線、西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。

費用対効果…事業の実施によって、評価期間中に発現する様々な効果・影響を貨幣換算し、これを建設費、維持管理費等のコストと比較することにより事業の投資効率性を表したものの。

事故危険箇所…警察庁と国土交通省が合同で死傷事故率が高く、又は死傷事故が多発している交差点や単路部を「事故危険箇所」として平成25年7月に指定。平成28年度に新たな「事故危険箇所」を指定予定。

通学路交通安全プログラム…通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため、地域ごとに教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者等により策定される基本方針。

ストック効果…整備された施設が機能して長期的にその地域の生産性や安全性を高めたり、環境を改善するなどの効果。

PDCAサイクル…計画（plan）→実行（do）→評価（check）→改善（act）という4段階の活動を繰り返し行なうことで、継続的にプロセスを改善していく手法。

高規格幹線道路…全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。

地域高規格道路…高規格幹線道路と一体となって、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進、空港・港湾などの広域交流拠点との連結等に資する路線。